

開催日時：2022年12月4日(日)
13:00～16:00

開催場所：東京大学弥生講堂一条ホール
(東京大学農学部構内)

開催形式：オンサイト(先着100名)
zoomによるオンライン(人数制限なし)
によるハイブリッド形式

参加無料
事前登録制

申込締切：12月1日(木)

URL： <https://qr.paps.jp/bcDPz>

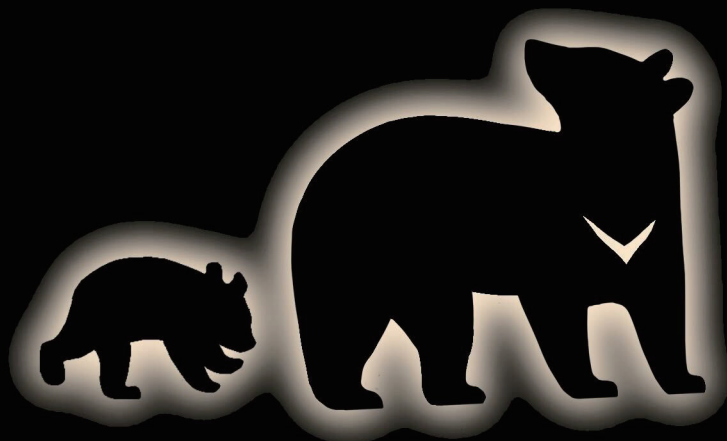
あるいは、下記のQRコードよりご登録ください。

3営業日以内に案内メールをご返信します。

オンサイト参加者の皆様には、
マスク着用や手指消毒等のご協力をお願いします。

街に出るクマ

「アーバンベアとどう付き合うか？」
「わたしたちにてできること」



街に出るクマ

～アーバンベアとどう付き合うか？わたしたちにできること～



日本クマネットワークでは2020年4月から3年間で独立行政法人環境再生保全機構地球環境基金の助成をいただき、「街に出るクマ～アーバンベアとどう付き合うか～」通称アーバンベアプロジェクトという活動に取り組んできました。この活動の背景には、近年日本各地で、それまではクマ（ヒグマやツキノワグマ）が生息しないような市街地周辺に恒常的にクマが生息し、一時的に市街地に出没する可能性のあるクマ（本プロジェクトではこういったクマをアーバンベアとします）が増加することが、地域全体の人々の暮らしを脅かす、新たな大きな問題となってきました。本シンポジウムでは、3年間にわたる一連の各活動の報告を行うとともに、活動の中心

テーマの一つである「正しいクマの姿を知ってもらうこと、知ること」に焦点を当てた議論をすることで、皆様がこれからのアーバンベアとの付き合い方を考えるきっかけになることを期待しています。

プログラム

1. JBN紹介・プロジェクト紹介…………… 佐藤喜和／JBN代表・酪農学園大学
2. クマの市街地出没の現状と対策…………… 小池伸介／プロジェクト代表・東京農工大学
3. アーバンベアに関する住民意識調査の結果紹介…………… 小坂井千夏／農研機構
4. 札幌市における多角的な取り組み事例…………… 佐藤喜和／JBN代表・酪農学園大学

～休憩～

5. JBNの活動紹介
 - ①当事者意識を向上させるための活動…………… 小林喬子／(一財)自然環境研究センター
 - ②普及啓発を進めるための活動…………… 稲垣亜希乃／東京農工大学

～休憩～

6. 総合討論（進行：下鶴倫人／北海道大学）
パネリスト：佐藤喜和／酪農学園大学、小池伸介／東京農工大学、
鵜野一小野寺レイナ／慶応義塾大学先端生命科学研究所、
近藤麻実／秋田県自然保護課、
澤田誠吾／島根県西部農林水産振興センター県央事務所



問い合わせ先

日本クマネットワーク アーバンベアプロジェクト窓口
(Mail : urbanbearjbn@gmail.com)

主催 | 日本クマネットワーク (JBN)

本シンポジウムは、独立行政法人環境再生保全機構地球環境基金の助成を受けて開催します。

